



保護者の皆様、関係機関並びに地域の皆様、日ごろより本校の教育活動に対して、ご理解とご協力をいただき、大変ありがとうございます。

本年度、本校に赴任いたしました校長の近藤英彦と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

赴任して、本校の第一印象は、「大変温かみのある学校」と感じたことでした。子どもたちや職員に温かく受け入れてもらえ、この福岡県立川崎特別支援学校で、校訓の示すとおり「精いっぱい」頑張りたいと心を新たにしました次第でございます。

昨年度までは、コロナ禍ということで、学校行事の多くが、残念なことに中止をやむなくされたり、縮小といった制限の下で実施されてきたりしました。そのような中でも本校は、子どもたちや職員全員で工夫し、保護者や地域の皆さまの支援をいただきながら、「精いっぱい」教育活動に取り組んできました。私は、子どもたちの成長においては、日ごろの教育活動はもちろんのこと、学校行事の果たす役割は非常に大きなものであると思っております。常に子どもたちの安全・安心を第一に考え、様々な教育活動に取り組んでまいります。

赴任時に職員への挨拶と入学式の式辞において、「精いっぱい」という校訓のもとで、学校スローガンの「子どもファースト」「ひとりにしない」「凡事徹底」のいわゆる不易三項目は、本年度も是非継続して取り組んでいきたい、と申しました。また、本年度はこの不易三項目に加え、「笑顔と感動のある川崎特別支援学校」をスローガンに加え、日々の教育活動に「精いっぱい」邁進していきたい、と考えております。

さらに、入学式の式辞では、子どもたちの夢の実現に向けて、子どもたちと一緒に、私たち職員も頑張ってくこと、決して一人ではないこと、目標に向かって励む仲間や先輩がいること、そして本校の職員全員が子どもたちの応援団であること、を申しあげました。

「笑顔と感動のある川崎特別支援学校」にするため、「子どもファースト」で、「ひとりにしない」、「凡事徹底」のできる学校づくりに職員一丸となって努力してまいります。そのためには本校職員だけでなく、保護者の皆さまや地域の皆さまはもちろんのこと、多くの皆さまの支えが必要です。何とぞこれまでと変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年4月
福岡県立川崎特別支援学校
校長 近藤 英彦